



RRC 2026 障害馬術競技実施要項

2026.3.31

参加者用

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

『RRC』とは、Retired Racehorse Cup の略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる馬術競技である。

目的： 引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その競技で好成績を収めた引退競走馬を表彰することにより、国民に馴染み深い競走馬の引退後の活躍を広く紹介するとともに、乗馬、馬術の魅力を発信し乗馬のさらなる認知、乗馬人口の増大に繋げる。また、本協会の本来の目的である、乗馬普及・底辺拡大をさらに推進すべく、大人しくて乗りやすい乗用馬資源の創生を目標とし、引退競走馬のリトレーニング技術の向上と馬に関わる人材育成のために「奨励金」等を交付する。

なお、引退競走馬たちがセカンドキャリアに進むことに際しては、馬のウェルフェア（FEI馬のスポーツ憲章など）に十分配慮し、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設けるなど、乗馬・馬術関係者のホースマンとしての基本姿勢を守ることを通じて、その未来と可能性を示すことを目指した場であることを理解し、共有しなければならない。

以上、引退競走馬のセカンドキャリア形成の第一歩が、本事業を通じて直接的に乗馬・馬術への入り口として定着することを目的として実施する。

1. 競技大会及び競技種目

令和 8 年に開催される競技大会の中で引退競走馬のみで構成される以下の障害馬術競技を、「RRC」（「Retired Racehorse Cup」の略（引退競走馬杯））競技とする。

下記のとおり、各 12 大会を予選競技とし、各大会のうち 40 頭以上の出場があった大会では上位 3 頭、40 頭未満の出場であった大会では上位 2 頭（「出場辞退」などで順位繰り上げの場合あり※1）に RRC FINAL の出場権を与え、決勝競技を行う。該当馬は RRC FINAL に出場すること（RRC FINAL の出場権は馬の権利とし、騎乗者の変更は可）。

競技の実施に際しては、日本馬術連盟（以下 JEF という）競技会関連規程集（最新版）を準用する。

《予選競技》

JEF 小障害 B (90cm クラス)

基準 A **第 222 条 1 (1.4.2)** 二段階走行ノーマル競技

12 障害 13 飛越 (一段階目 7 障害、二段階目 5 障害 6 飛越)、分速 350m、1 種目とし、種目名は「RRC 障害馬術競技」とする。※二段階目のみタイムレース
障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。なお、コンビネーション障害は二段階目に設置する。

《RRC FINAL》 (別途実施要項)

JEF 小障害 A (100cm クラス)

基準 A **第 220 条 2.1.2** 10 障害 12 飛越、分速 350m とし、種目名は「RRC FINAL 障害馬術競技」とする。

※競技ルールは、競技進行上、変更する場合もある。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。

2. 開催会場及び日程

一覧表参照

3. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録(内国産、外国産を問わず)され、中央競馬、地方競馬の競走馬として、最後に出走したレースが令和 5 (2023) 年 1 月 1 日以降の出走歴を持つ 3 歳以上で、かつ最終出走から半年間のリトレーニング期間を設けた馬※2とする(「出走取消(競走除外)」も出走歴へ含む)。また競走に未出走の馬は、年齢が 4 歳以上 7 歳以下とし、年齢は馬年齢(1 月 1 日)を適応する。

2026 年度から新たに繁殖馬に関する出場資格を別紙の通り定める。

競技会期間中にマイクロチップ等を用いた個体識別を行うこととする。

なお、各大会とも 1 種目に 1 頭の馬が複数回出場することはできない。また、一般観戦者等に競技について、理解しやすくするためのオープン参加(表彰対象外の出場)は認められない。

※この出場資格に直ちに該当しない引退競走馬(海外競馬の競走馬など)については別紙の通り定める。

【各大会 RRC FINAL 出場権獲得馬の参加条件・障害馬術競技】

同年の RRC 障害馬術競技で RRC FINAL の出場権を獲得した馬匹は、他(複数)の同競技に出場することはできない。

ただし、他の競技(馬場馬術競技・総合馬術競技・RRC FINAL)の出場は可とする。

4. 出場者

- ① 以下の資格又は同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者（出場申込用紙に記入）が推薦する者。
- ・本協会 乗馬指導者資格／乗馬技能認定1級
 - ・JEF 騎乗者資格B級以上
 - ・全日本学生馬術連盟騎乗者資格SA級
 - ・全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格HB級
 - ・日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格Aグレード
 - ・日本乗馬少年団連盟 騎乗者資格中級以上
- ② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したものとみなす。
- ③ 1人が複数頭に騎乗し出場できるのは3頭までとする。

5. 出場料

- 1回 ¥10,000 を各主催者に支払うこと。（馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく）
- ※各大会共に参加者は、RRC1種目のみの出場ではなく当該大会の別種目にも出場することを推奨する。

6. 奨励金

《予選競技》

- ・総額 **90万円**（優勝40万、2位20万、3位15万、4位8万、5位7万）
※ただし交付対象は二段階目を完走した人馬のみとする。
- ・クリアラウンド賞（減点0で走行した人馬）**6万円**
- ・地方競馬全国協会賞（1位から3位に競技場開催地域の銘柄牛）

《RRC FINAL》

- ・総額 **200万円**
（優勝100万円、2位40万円、3位30万円、4位20万円、5位10万円）
※ただし交付対象はファーストラウンドを完走した人馬のみとする。
- ・ダブルクリアラウンド賞（ファーストラウンド・ジャンプオフの2走行とも減点0で走行した人馬）**6万円**
- ・地方競馬全国協会賞（1位から3位に競技場開催地域の銘柄牛）
- ・予算の範囲内で輸送費補助を支給する。

7. 表彰

- 1位から**5位**までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。
- ※ただし表彰対象は二段階目を完走した人馬のみとする。
- 1位から3位までにリボン（タスキ）及び地方競馬全国協会賞を授与する。

また、クリアラウンド賞を贈る。

表彰式は人馬による表彰式を行うものとする（ただし悪天候や馬のウェルフェア上の理由による場合はこの限りでない）。

8. 申し込み等

別に定める「RRC（引退競走馬杯）出場申込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

9. その他

- ① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。
- ② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号（馬の健康手帳の表紙の裏に記載されている）を申込時に記載すること。
- ③ 奨励金とクリアラウンド賞の交付は、各主催者から、該当馬の所有者に対して行う。
- ④ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。
- ⑤ 競技開催日の5日前に本協会のホームページ上で出場順を公表する（5日前が土日祝日等の場合はその直前の営業日となる）。それ以降は、医師の診断書がある場合のみ乗り手の変更を可とする。馬の変更、追加は一切受け付けない（棄権のみ）。
- ⑥ 競技場審判団及び技術代表は、馬へのウェルフェアに反する行為や、危険な騎乗が見受けられ競技続行が不適性と思われる選手を失権とする義務と全権を負う。
例：怪我の可能性を大いに予見できる急回転や、オーバーペース。明らかに調教が未達状態での出場。
※出場者及び当該馬の関係者は、この判断・決定への異議はできないことを了承して、競技に参加すること。

- ⑦ この奨励金は、JRA 日本中央競馬会の競馬振興特別助成金等により実施する。

RRC 2026 実施予定

《障害馬術競技》

No	開催日	大会名	会場	競技会名
1	4月4日(土)	静岡	御殿場市馬術・スポーツセンター	2026Fuji Horse Show Jumping Festival
2	4月5日(日)	福岡	福岡県馬術競技場	桜花ホースショー
3	4月19日(日)	栃木	那須トレーニングファーム	第63回しもつけ乗馬大会
4	4月29日(水祝)	滋賀	水口乗馬クラブ	第14回水口スプリングホースショー
5	6月7日(日)	千葉	東関東ホースアンドハウンド	ビギナーズホースショー
6	6月21日(日)	福島	南相馬市馬事公苑	東北馬術大会 2026
7	8月30日(日)	岡山	蒜山ホースパーク	第18回岡山国体記念馬術大会
8	9月5日(土)	愛知	愛知県森林公園乗馬施設	第16回東海ホースフェスティバル
9	9月13日(日)	熊本	熊本県立菊池農業高等学校馬術競技場	ホースショーインくまもと
10	9月23日(水祝)	福井	福井ホースパーク	愛馬の日馬術大会
11	9月26日(土)	北海道	ノーザンホースパーク	第48北海道地区乗馬大会
12	10月4日(日)	兵庫	三木ホースランドパーク	第51回キャロットカップ
F	12月6日(日)	FINAL	JRA 馬事公苑	RRC FINAL 2026 障害馬術

※上記日程及び会場は、変更する場合があります。

※1 出場権利獲得馬の辞退による繰り上がりについて

- ① 繰り上がりは全ての予選競技が終了した後に決定する。
- ② FINAL の出場を辞退する馬があった場合、3位以下の馬を繰り上げる。
- ③ 繰り上げの対象馬が、後の予選競技で出場権を獲得していた場合、実施日の早い予選競技を優先して確定させていく。
- ④ ただし、権利の繰り上がりは二段階目を完走した馬までを対象とする。

(例)

予選①で2位の馬が FINAL の出場を辞退した場合、予選①の3位の馬が繰り上がる。
予選①の3位の馬が、後の予選②で上位2頭に入っていた場合でも、最も実施日の早い予選①での権利が優先される為、予選②の出場権利は、予選②の3位の馬を繰り上げる。

※2

(例)

最終出走歴が2025年10月1日の場合、2026年4月2日以降に開催のRRCに出場可能。
最終出走歴が2025年12月15日の場合、2026年6月16日以降に開催のRRCに出場可能。
最終出走歴が2026年4月30日の場合、2026年10月31日以降に開催のRRCに出場可能。
最終出走歴が2026年5月31日の場合、2026年12月1日以降に開催のRRCに出場可能。